

安全計画

株式会社グロウキッズ

作成年月日：2025 年 8 月 16 日

1. 保育理念と安全管理の基本姿勢

- **保育理念**

子ども一人ひとりの「安心・安全・健やかな成長」を最優先とし、家庭的な環境の中で安心できる保育を提供する。

- **安全管理基本姿勢**

子どもの生命・身体を守ることを最優先にする。

保育者は常に安全確認を怠らず、リスクを事前に排除する。

保護者との密接な連携を通じ、安心できる保育体制を確立する。

事故・事件は「未然防止」を原則とする。

2. 保育場所ごとのリスク分析

(1) 自宅保育時

- 家具の転倒・落下物 → 事前に安全確認
- 誤飲・誤食 → 小物・薬品・刃物類は子どもの手の届かない場所へ
- 浴室・キッチン → 施錠・入室制限

(2) 外出先（公園・公共施設）

- 遊具の劣化や破損 → 使用前点検
- 不審者対応 → 常に子どもを視認できる距離で見守り
- 水辺・道路近接エリア → 近づかないルール徹底

3. 送迎時の安全確保

- **交通事故防止**

横断歩道は必ず信号を守り、手をつないで渡る。

車道側に保育者が立ち、子どもを歩道側に配置。

自転車利用時はヘルメット着用を徹底。

4. 遊具・生活用品の安全確認チェックリスト

- 遊具の破損・サビ・ぐらつきはないか
- 床や地面にガラス片・異物が落ちていないか
- おもちゃは破損・部品の外れがないか
- 哺乳瓶・食器のヒビ割れはないか
- ベビーベッド・布団の周囲に窒息リスク（紐・クッション等）がないか
- 定期的にアルコール消毒を行っているか
- チェックリストは毎回利用前に確認し、記録として残す

5. 個人情報・子どものプライバシー管理

- 子どもの氏名・住所・写真・健康情報は社内で厳重に管理。
- 外部への情報提供は保護者の同意を得た場合のみ実施。
- 書類・記録は施錠可能な保管庫で管理。
- デジタルデータはパスワード管理を徹底し、外部デバイスに保存しない。
- SNS 等への子どもの写真投稿は禁止。

6. 危険予測トレーニングの方法

- 毎月1回、保育スタッフ間で「ヒヤリ・ハット事例」を共有。
- 事故発生時の対応を段階的に示し、各段階の対応手順を確認。

事故発生後の段階	対応方法
事故発生直後	■事故直後について、まずは事故に遭った子どもの応急処置を行う。 ■重大事故（重大事故と考えられる事故を含む）が起きた時、以下の①～③について迅速に対応する。 ①心肺蘇生・応急処置、119番通報をする ②事故の状況を的確に把握する。

	③保護者に事故の発生について連絡し、現在分かっている事実を説明する。 ■あわせて、以下の点に留意する。 ・子どもの生命と健康を優先し、応急処置は迅速に行う。 ・受診の判断に迷う場合には受診する。 ・職員は事故の状況や子どもの様子に動揺せず、また子どもの不安を軽減するように対応する。
関係者への連絡	■本部へ迅速に連絡し、事故の状況について報告する。
事故状況の記録	■事故が発生した現場を、現状のまま保存しておく。 ■事故後速やかに、事故の発生状況を記録する。
保護者等への対応	■保護者の心理を踏まえた対応に留意する。 ■事故に遭った子どもの保護者の意向を丁寧に確認しながら対応をする。 ■子どもの事故の概況（事故発生の経緯、事故発生時の様子、受診結果等）については、具体的かつ、客観的に説明するように心がける。
明らかな危険要因への対応	■明らかに危険な要因については、検証結果を待たずに対応する。 ■速やかに対応できる具体的対策、注意喚起の例 ・危険性のある食材の除去 ・危険性のある玩具の除去 等

- 研修で得た知識で緊急時に対応できるよう危険回避行動を身につける。
- 研修後は記録を残し、次回に改善策を反映させる。

7. 安全に関する取り組みと職員研修・保護者説明

- 安全に関する取り組み、職員研修

年2回以上、安全管理研修を実施。

実施時期	種別	取組内容
年度始め	取組	・リスクが高い局面や緊急時の行動マニュアルを策定（見直し）し、委託者に共有、必要に応じ、ホームページに掲示する ・各種訓練（災害・救急対応・不審者対応・119番通報）の実施に関する年間スケジュールを定める
6月頃	研修	応急処置、AED使用法、防犯対応、感染症予防に関する研修を実施する。

11 月頃	研修	応急処置、AED 使用法、防犯対応、感染症予防に関する研修を実施する。
随時	研修	新任スタッフは必ず研修を受講し、確認テストを実施。
事故発生時	研修	発生した事案の分析と再発防止策を検討し、安全点検 やマニュアルに反映するとともに、職員・保護者に周知する。

- **保護者説明**

登録時に「安全計画」を文書で説明。

送迎方法・緊急時連絡体制・災害時の対応を事前面談時もしくは引継時に共有。

定期的にアンケートを実施し、安全管理に関する意見を反映。

改版履歷

[illegible]